

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 12 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202684		
法人名	医療法人ピーアイエー		
事業所名	グループホームつぼい		
所在地	広島市佐伯区坪井三丁目818番地の1		
自己評価作成日	令和4年11月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470202684-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470202684-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年12月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

栄養バランスを考慮しながら手作りの食事を毎食提供しています。アットホームな環境と、隣接するナカムラ病院の専門的な知識と手厚い支援により、急を要する医療にも迅速に対応します。コロナ禍による制限のある生活の中で、ご利用者さまの思いが叶うように、より親身にきめ細やかな支援を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

災害対策において火災、地震、風水害の訓練を密に行い、マニュアルも改訂を繰り返しながら、実際に避難を行った経験を活かし現在に繋げている。コロナ禍で、法人のバックアップの一つに感染が事業所及びその周辺で発生した場合、法人全体でカバーしながら、利用者に影響しないよう努め、職員はリフレッシュ休暇を3日間とれる仕組みを整えている。事業所は研修や資格取得等、キャリアアップに後押ししており、利用者へのサービスへ繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	『我々グループは幸齢社会を創ります』の理念と行動指針を定めたハンドブックを法人全体で共有し意識の統一を図っている。理念に添ったホームの年間目標を設定し、それに基づいた個人目標を立て半年ごとに評価し見直しを行っている。	設立当初からの法人理念は、改訂を行いながら職員は運営目標、行動指針等を共有し「職員ハンドブック」を活用して日々の支援に繋げている。また年間を通じて目標をたて自己評価している。職員は利用者の思いを汲み取り、理念に沿った支援をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で地域の皆さんとの交流が難しくなっているが、運営推進会議には意見照会で参加をお願いしている。	町内会は加入していないが、地域とのつきあいは大切にしている。コロナ禍で地域との繋がりは困難で交流出来ない。感染の広がりが終息していない現在は、ベランダ越しに通りがかりの住民や小、中学校の生徒達と手を振って挨拶している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	グループホーム独自の活動は少ないが、相談受け入れなどグループホームで可能なことは柔軟に対応している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	意見照会の会議になっているが、活動状況や事故等を報告し助言や評価をいただいている。事業所同士の参加も継続中。ケアの工夫やアイデアなども情報交換している。	会議は書面会議で定期的に行っている。地域包括支援センターや他のグループホーム関係者が参加し意見交換を行っている。取り組み内容は報告だけでなく、例えば面会に関してや利用者の体調面のアドバイス等、意見交換を行いながらサービスの向上に取り組んでいる。	運営推進会議は充実しているが、現状ではこの討議内容が議事録として家族に届けられていない。今後の改善課題の情報共有のためにも、この会議録の送付についての対応を期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議を通して、地域包括支援センターや認知症地域推進委員の皆さんに意見や評価、情報をいただいている。	地域包括支援センター職員に運営推進会議へ参加してもらったり、日頃から研修の案内を受けリモートで参加する等、情報交換を行いながら市町と協力関係を築く努力をしている。また質問がある場合は介護保険課に相談し連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアは当然のこと。職員の目配りと連携で行動を制限することのないよう取り組んでいる。月/1回 法人内の『行動制限最小化委員会』に参加。職員全員は難しいが研修にも参加している。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、日々の会議で話し合っている。例えば利用者がタンスの一番下の引き出しの開閉時、転倒が有るため張り紙が効果的だったり、外出を希望する場合は、職員と共にベランダを散歩し、穏やかに解決出来る様取り組んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>不適切な言動や利用者の行動を規制することのないように申し送りやミーティングでケアや対応について話し合っている。業務を柔軟に見直して勤務体制に無理がないよう管理者が配慮している。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見制度を利用している方はいないが制度を理解できるよう努めている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に運営規定、約款を提示し口頭で説明して同意を得ている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会を規制しているため、ご家族の要望や意見が届きにくいこともあるが、窓越し面会や電話等で要望や意見をお聞きしている。</p>	<p>面会方法を制限し家族の要望が反映出来ないことも有る。利用者の様子は定期的に、電話や家族によっては手紙を通して支援している。職員は利用者や家族の要望を理解しており、出来るだけ運営に反映させるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月/1回のミーティングの実施はできていないが、管理者、主任が職員の意見や気づきを聞き業務の見直しを行ったり、利用者の状況や実情に合ったケアにつなげている。</p>	<p>職員の意見は業務改善の見直しなど、勤務時間に関する変更など必要に応じて反映させる仕組みを確保している。また研修や資格取得にもキャリアアップに繋がるよう支援している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人の就業規則と職能資格級制度での人事考課あり。有給休暇、特別休暇取得へも積極的に取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人で年間研修計画を立て習熟年数に応じた研修参加の機会を設けているが、コロナ禍のため実施できていない研修もある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>佐伯区グループホームネットワークに参加しているが、今は活動を中止している。メール等で事業者同士の空室情報や緊急受け入れの有無などをやり取りしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>家族からの情報をもとに、ご本人の気持ちや思いを傾聴し職員が情報共有しながら信頼関係を築けるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族にホームの日々の生活やリスク等を相談員と一緒に説明している。ご家族の要望や不安を聞き、お互いが理解し合えるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>法人内の地域連携センター職員と一緒に対応し、その人にとって今何が必要かを見極め法人内にとどまらず必要に応じて他のサービス利用の調整をしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>感染症のため一緒に活動することが減っているが、ご本人の得意なことが継続できるように支援に努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>直接会うことが出来ない今は、リモート面会や電話の取り次ぎなどを支援し家族に情報提供している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会のできない状況下で関係継続が難しくなっている。</p>	<p>現状では馴染みの場所に出掛ける事が困難で、出来る限り馴染みの人との繋がりを大切にしている。必要時に馴染みの医療機関を受診している。時にはベランダから見える景色を眺め、住み慣れた街並みを思い会話している。職員は途切れない関係の継続を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方や相性の悪い方の席を工夫している。助け合いすぎて過剰な行動にならないよう配慮も必要。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設や病院へ移られる時は日々の生活全般を情報提供している。法人内の移動では、担当相談員がそのまま引き継ぎ対応している。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や行動から利用者が何に興味や関心があるか情報共有している。実現可能なことは家族に協力をお願いしている。	毎日の生活を通して本人が希望することを把握し支援に努めている。外泊や外出が出来ない現在、職員と共にベランダを一周する散歩をしている。利用者の中には言葉がけに注意し、また家族から禁忌の言葉の情報を受け一人ひとりに寄り添った支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者がどうしてそのような行動をとるのか、どうしてそれを好むのかを知るためにプライバシーに配慮しながら家族と情報共有し本人の気持ちに添えるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	其々の過ごし方や気持ちの持ち方を日々の暮らしの流れに沿って細やかに観察し把握に努め情報共有しチームで支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日頃の状態や本人の気持ち、家族の要望を聞きながら3か月を基本として見直しを行っている。</p>	<p>通常モニタリングは3ヶ月に1回本人、家族の意見を中心に担当者、管理者、ケアマネジャーが現状に即した計画を作成している。又、状態の変化がある場合は、職員全員が話し合い評価、見直しを行い現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録はカルテや日誌に記入。状態変化、内服薬やケア変更は連絡帳に記入し情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>薬剤師、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、作業療法士、心理士などの多職種にいつでも相談できる体制があり法人内で柔軟な支援が可能になっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在はボランティアの皆さんとの交流ができない状況だが、コロナが終息したら復活したいと思います。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望する医療機関への受診や母体病院への受診など希望に添った対応をしている。</p>	<p>本人や家族の希望で協力医以外にも受診も出来るようにしている。職員は常に「ちょっと変」を大切に対応し、敷地内の医療機関と連携しオンコールで素早い対応を確保している。また必要に応じて他科受診や、歯科受診も適切に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>母体病院と連携し日頃の体調管理や受診の相談、アドバイスや支援をお願いしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>家族や入院先の医療機関、相談員と連携し治療経過の確認や情報を交換し退院後の生活支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用開始時に重度化した場合の対応や方針を説明し同意を得ている。医療依存度が高くなった場合は、適宜主治医を交えて話し合っている。終末期の対応は母体病院の協力を得て支援している。</p>	<p>利用開始時に法人の方針で看取りは行わない事を、家族に説明し了解を得ている。重度化した場合は家族の希望を確認し、かかりつけ医の指示のもと、主には法人内の医療機関を紹介している。職員は予防に重点を置き、事業所の方針に沿った支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救命講習に順次参加しているが、コロナ禍で延期している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>土砂災害の危険区域のため、年/1～2回避難訓練を実施している。実際の避難も数回経験している。当法人と五日市観音西地区自主防災会連合会と【災害相互応援協力協定】を結び災害時の協力体制ができています。</p>	<p>定期的な避難訓練を、夜間想定を含め利用者と共にしている。災害対策は地理的環境を把握し、可視化することで素早い対応をしている。実際に集中豪雨時に法人内施設に避難した経験があり、防災タイムラインも把握している。法人施設には備蓄も確保し役立っている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	親しみのある会話にも、くだけすぎず相手を不快にしない言葉かけを心がけている。接遇研修参加。	利用者一人ひとりの生活歴を把握し情報を共有している。職員はその人に合った声掛けを工夫し、プライバシーを守る対応に取り組んでいる。職員研修は接遇、権利擁護関係等を行い、いろいろな情報を集め個々の人格を尊重する大切さを共有しながら支援に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	残存能力に配慮しながら、こちらからの問いかけに言葉で返していただけるように働きかけている。難聴の方にはボードを使用し筆談で対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その方のペースを見守りながら、希望にそえるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望に合わせて洋服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の食事提供に力を入れている。季節や好み、特別な日の献立を職員が交代で考えて食事を楽しんでもらいたいと願い支援している。	食事は三食、職員が交代で作っている。週に1回は新鮮な刺身やその他の新鮮な魚を調理している。事業所は四季折々の食事を大切にしながら、食事環境にも気配りを行い、楽しく飽きない食事を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の形状や量に配慮しながら提供し、毎食の摂取量を確認します。特に水分摂取に気をつけ体調不良の早期発見に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>定期的に歯科受診している。歯科衛生士の指導を受けながら個々に合わせた支援をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>其々の排泄パターンを把握し，できるだけ自分の意思でトイレに行っていただきます。必要時は確認させていただき不潔にならないよう配慮します。</p>	<p>利用者の排泄パターンを共有し、職員は誘導の機会を把握している。利用者の多くが高齢で、リハビリパンツや布パンツにパット使用ではあるが、トイレも利用している。便秘の予防としても、水分管理や排便の予防対策として食事等にも気配りしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>体操などの身体を動かす時間を設けたり、水分摂取を工夫している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員と1対1で自分のペースで入浴できるよう支援している。好きな話題で入浴時間を過ごすことができるよう対応している。</p>	<p>入浴は1日置きで午後からを基本としている。浴室は家庭のお風呂に近い広さで、心地よい環境を保ち支援している。普段は入浴剤は使用せずシャンプーは皮膚にやさしい製品を使用している。湯温や室温にも気を配り、楽しく快適な入浴を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>個々の体調や体力を考慮し状況 に応じて休息の声をかけている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員が個々の服薬中の薬を把握 している。服薬による状態変化 や不安に思うことをいつでも主 治医、看護師、薬剤師に相談す ることができる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>家事仕事は難しくなっているが 、日課の新聞を読んだり、得意 な折り紙や塗り絵などが継続で きるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>感染症のため希望の外出支援 はできていない。</p>	<p>現在は外出は出来ないが、職員 は外の空気を感じて貰うため、 回遊できるベランダを、海が見 える景色を眺めながら散歩したり 、時には近隣住民と手を振って 挨拶を交わしている。職員は出 来る限り外気に触れる機会をつ くるよう取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>2～3名の方が現金を所持して いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話の希望を支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	リビングからベランダへ自由に入出りできる。ベランダを一周したり海を眺めてゆったりと過ごしていただけるよう配慮している。	日中は陽当たり良く、共用空間は衛生管理は基より、温度や空調も管理している。壁には利用者と職員が季節の手作り品を制作し、飾っている。フローアーは木目の落ち着いた空間や掛座敷があり、見守りが容易な室内で職員は安心して支援している。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	自室やリビングで皆さん思い思いに過ごしている。食事作りの音や臭いがBJMになるよう努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ご家族の協力で馴染みの物や写真などを持ち込まれ生活されています。	利用者一人ひとりが大切にしているものを職員は把握している。入口には名札を掛けている。居室はベッド、洗面台と広めのクローゼットが備え付けられ、利用者の中には白いテーブルやお揃いの白いチェストを設置し、お洒落な室内で自由に過ごし、掃除は毎日職員が行っている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	一人一人の機能を把握し動線が危なくならないよう配慮している。床はクッション素材で転倒の衝撃が和らぐようにできている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームつぼい

作成日 令和5年 1月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の討議内容が家族に届けられていない。	運営推進会議の内容を家族に報告し、事業所の活動や取り組みを知っていただき理解を得る。	家族に会議の議事録を送付する。	1年
2	34	感染対策マニュアルの更新が遅れがちになっている	感染対策マニュアルを常に最新のものに更新し、周知徹底を図る。	属する医療法人のガイドラインに沿ったマニュアル作成を行う。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。